

キューバ友好円卓会議 10周年記念キューバツアー

キューバの全体像を知る8日間 主催：キューバ友好円卓会議

10周年記念ツアーの日程が決まりました。第1報です。詳細は、後日お知らせします。

【日程】 2014年 3月6日(木)～13日(木) 【募集人数】 20名
 【問合せ先】 キューバ友好円卓会議 〒157-0073 東京都世田谷区砦 8-15-14-101
 FAX 03-3415-9292 (高斎) e-mail: cuba.entaku.0803@gmail.com
 【スケジュール(予定)】 ※内容は変更のされることがあります。ご了承ください。

月日	都市名	ツアー内容(予定)
3月6日	成田発 カナダ経由 ハバナ泊	
3月7日	ハバナ ハバナ泊	ラテンアメリカ医科大学/障害児の心理教育センター
3月8日	ハバナ ハバナ泊	アラマール農場/小学校
3月9日	ハバナ ハバナ泊	精神保健センター/地域精神保健センター
3月10日	ハバナ サンチャゴ・デ・クーバ泊	
3月11日	ハバナ泊	7月26日モンカダ兵営博物館
3月12日	ハバナ発 カナダ経由 機中泊	
3月13日	成田着	

第9回 メーデー国際ブリガダ 参加者募集!

2014年4月27日～5月11日/申込締切り 2014年3月30日



ICAP(キューバ諸国民友好協会)が、第9回メーデー国際ブリガダ2014の参加者を募集しています。ブリガダとは「ボランティアワークと連帯活動」のことで、その目的は、キューバの現実について理解してもらおうと同時に、キューバの農業生産を支援してもらうことにあります。

また、今回は第20回キューバ労働組合総同盟大会が2014年最初の3か月に開催されるということで特別な意味を持っています。参加者はボランティアワークだけでなく、歴史的・社会的場所を訪問したり、キューバの現状をテーマにした会議に出席したり、さまざまなキューバの団体代表者と交流したりすることで、半世紀以上にわたって勝利的革命の主要な守り手となってきたキューバ労働組合の第20回大会の内容と結果を知ることができる内容になっています。申込締切りは2014年3月30日。詳細は、キューバ大使館へお問い合わせください。

【問合せ】 キューバ共和国大使館 政務部(田代)
 TEL: 03-5570-3182 FAX: 03-5570-8521 E-mail: tcultura@ecujapon.jp

ブリガダのプログラムの一部をご紹介します

☆4/27(日) カイミート市のキャンプ場へ ☆4/28(月) 公式歓迎会。キューバの国民的英雄、ホセ・マルティについての講義。夕食とキューバンナイト ☆4/29(火) 農作業、講義「国際的逆境におけるキューバ経済。キューバの経済・社会モデル更新のためにとられた政策」、スペイン語とダンスのレッスン ☆4/30(水) 農作業、

北朝鮮とキューバの親密な長い歴史

「カラシニコフ銃 10 万丁受け取る」

党の機関誌「グランマ」でカストロ明かす

キューバのフィデル・カストロ前国家評議会議長が国営メディアに寄稿したコラムで、1980年代に北朝鮮から大量の武器の無償供与を受けていたことを明らかにした。

2013年7月には、キューバを出港した北朝鮮船籍の貨物船から未申告の武器が大量に見つかり、国連安全保障理事会の北朝鮮への制裁決議に違反するとして問題化したばかり。

カストロ氏は2013年8月13日付けで、キューバ共産党の機関紙「グランマ」に「客観的な真理と夢」と題して寄稿し、自らの政治家人生を振り返った。内容はソ連や米国との関係、ベネズエラのチャベス大統領の死去にあたっての所感など多岐にわたる、東アジア関連では北朝鮮に関する記述が際立つ。

冷戦中の1982年ソ連のレオニード・ブレジネフ書記長が死去し、後継にはユーリ・アンドロポフ書記長が就任した。カストロ氏は、当時のアンドロポフ氏とのやり取りを、こう振り返った。

「彼は我々に、もしキューバが米国から攻撃を受けたとしても、自力で戦わなければならないと伝えてきた」三行半を突きつけられたに近いと言えるが、この事は極秘にされた。「敵に知られると非常に危険なので、この事は最小限の同志にしか知らされなかった」

ここで助け船を出したのが北朝鮮で、カストロ氏は

「別の友人に対して、キューバ兵100万人を出動させるのに必要な武器の提供を依頼する事にした。経験豊かで非の打ちどころがない戦闘員の金日成同志は、1セントも要求する事なく、AKライフル（カラシニコフ）10万丁と、付随する弾薬を送ってきた」

と説明。故・金日成主席を「同志」という言葉を使って賞賛した。

キューバと北朝鮮との関係をめぐっては、13年7月にパナマ運河を航行中の北朝鮮船籍の貨物船が拿捕され、積み荷に地对空ミサイルシステム2セット、分解されたロケット9基、ミグ21型機2機などの武器が発見されたばかり。この問題でも、キューバの北朝鮮に対する配慮がうかがえる。

キューバ政府は、「旧式の武器を修理するために北朝鮮に運んでいた」と説明し、カストロ氏は13年7月のキューバ革命60周年を記念してラテンアメリカ各国の大統領に送った書簡の中で、拿捕について「革命を中傷するための試みだ」と非難している。

両国関係は現在も「相思相愛」といってもおかしくなく、金正恩第1書記は2013年7月26日、フィデル・カストロ氏の弟のラウル・カストロ氏に、

「わたしは、尊敬するフィデル・カストロ同志の指揮のもとで親米的な軍事独裁政権に反対する武装闘争の序幕を開いた英雄的なモンカダ兵舎襲撃60周年に際し、貴方とキューバ共産党とキューバ共和国政府と人民に熱烈な祝賀と戦闘的あいさつを送る」という内容の祝電を送っている。



♪入会(年会費 3000 円)&カンパ 随時受付中♪

振込用紙を同封しました。

ご利用ください。

※住所・氏名・電話・メールアドレスを明記の上、
ご入金ください。

郵便振替 00100-9-499950

加入者名 キューバ友好円卓会議

災害列島日本のお手本は やはりキューバ？！

全国に甚大な被害をもたらした台風26号。みなさんのところは大丈夫でしたか？被害に遭われたみなさんには、心からお見舞い申し上げます。地震、台風、竜巻、洪水、火山噴火……自然災害から国民を守る「防災力」のある社会づくりのお手本が、人命救済最優先のキューバにあります。ぜひご一読を。



中村八郎・吉田太郎 共著
築地書館/2520円(税込)